

2022年11月29日

低炭素社会戦略センターシンポジウム報告

# グローバルリスクのなかの 国際連携と未来

藤原帰一

千葉大学特任教授

東京大学未来ビジョン研究センター客員教授

# グローバル化するリスク グローバリズムの後退

---

## 1. リスクのグローバル化

地球環境温暖化とパンデミック

グローバル経済 生産の国際化・消費市場・投資金融

グローバルな安全保障 破綻国家とグローバルテロ

## 2. グローバリズムの後退

新興大国の登場と国際関係 権力移行と覇権競争

ナショナリズムとポピュリズム

国際機構と国際協調の後退

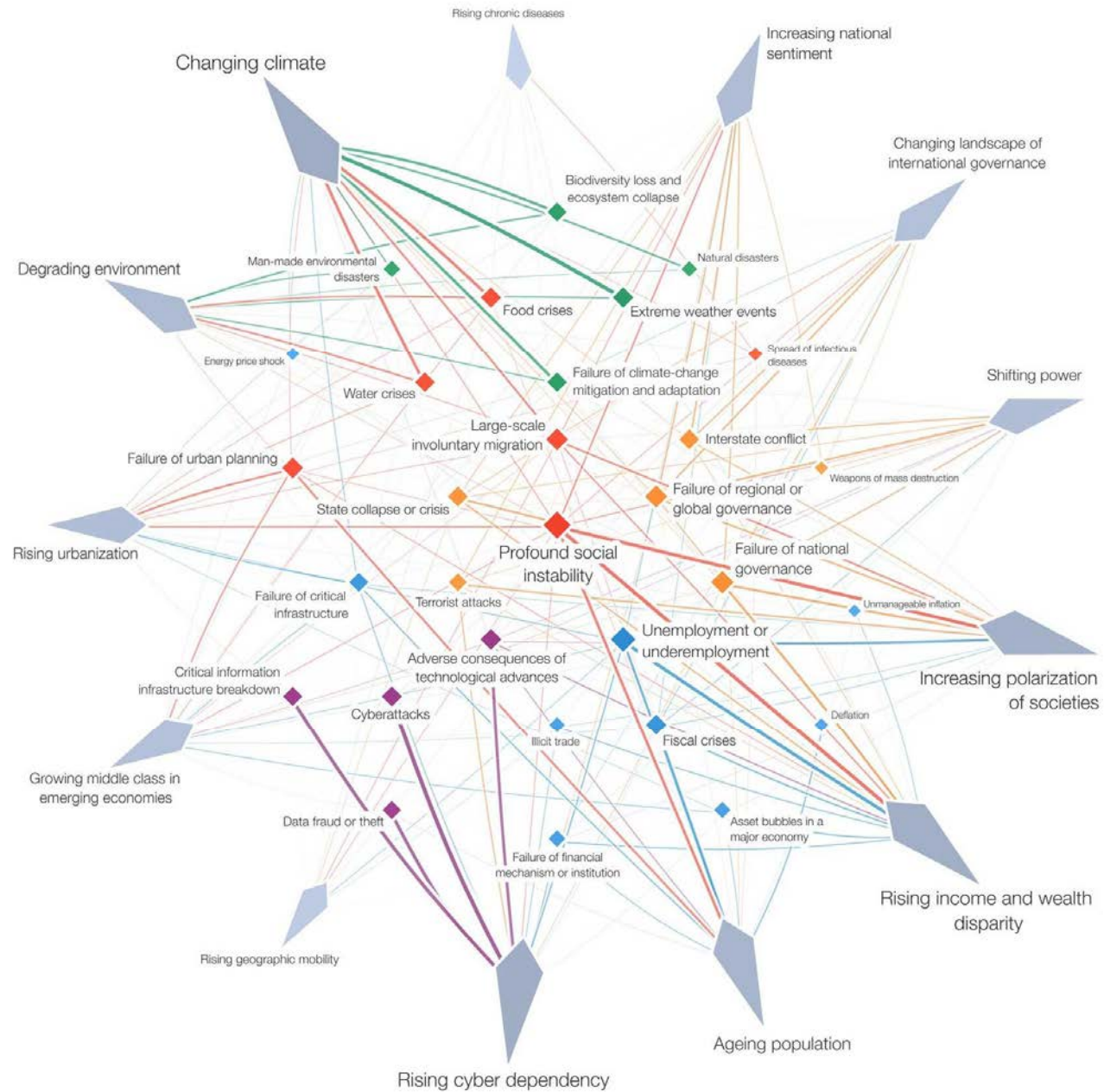
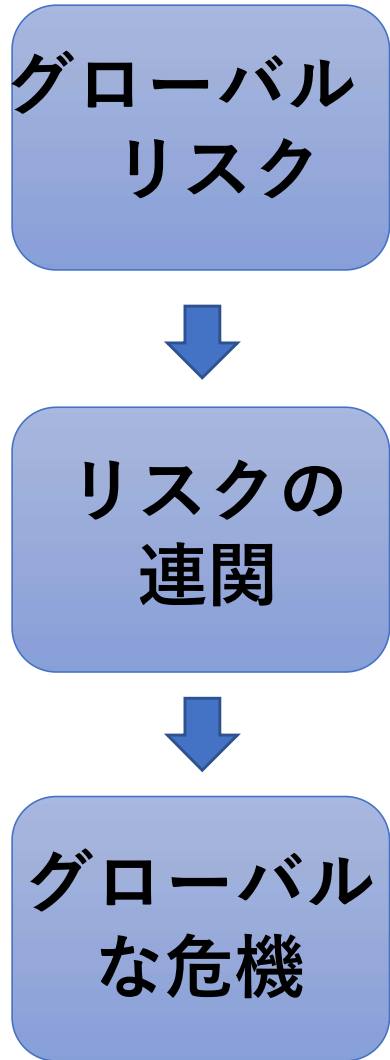


グローバル・リスクとリスク対応のギャップ

国際関係の危機はどこまで広がるのか

国境を越えるリスクマネジメントは可能か

# グローバル・リスクの連関（世界経済フォーラム）



# グローバル化と脱グローバル化

---

## (1) グローバル化 国境を越える世界

- 1) 国際市場の統合 貿易自由化による経済成長
- 2) 労働市場の統合 人の移動の自由
- 3) 自由世界の形成 民主主義の拡大

## (2) 脱グローバル化 国境を守る世界

- 1) 保護主義の復活 自由貿易体制の見直し
- 2) 移民・難民規制 人の移動の規制
- 3) 国民国家の復活 自由世界の退潮と権力競合

# 国際秩序の不安定化

---

(1) 権力移行と戦争 新興国の台頭・覇権国との競合

⇒ 世界戦争としてのウクライナ侵攻

(2) 市場統合の後退 貿易自由化から公共投資依存へ

⇒ スタグフレーションの危機

(3) テクノロジーの安全保障化

⇒ デジタル技術とサイバー戦争

(4) ナショナリズムとポピュリズム

⇒ 国内政治優位とグローバリズムの後退

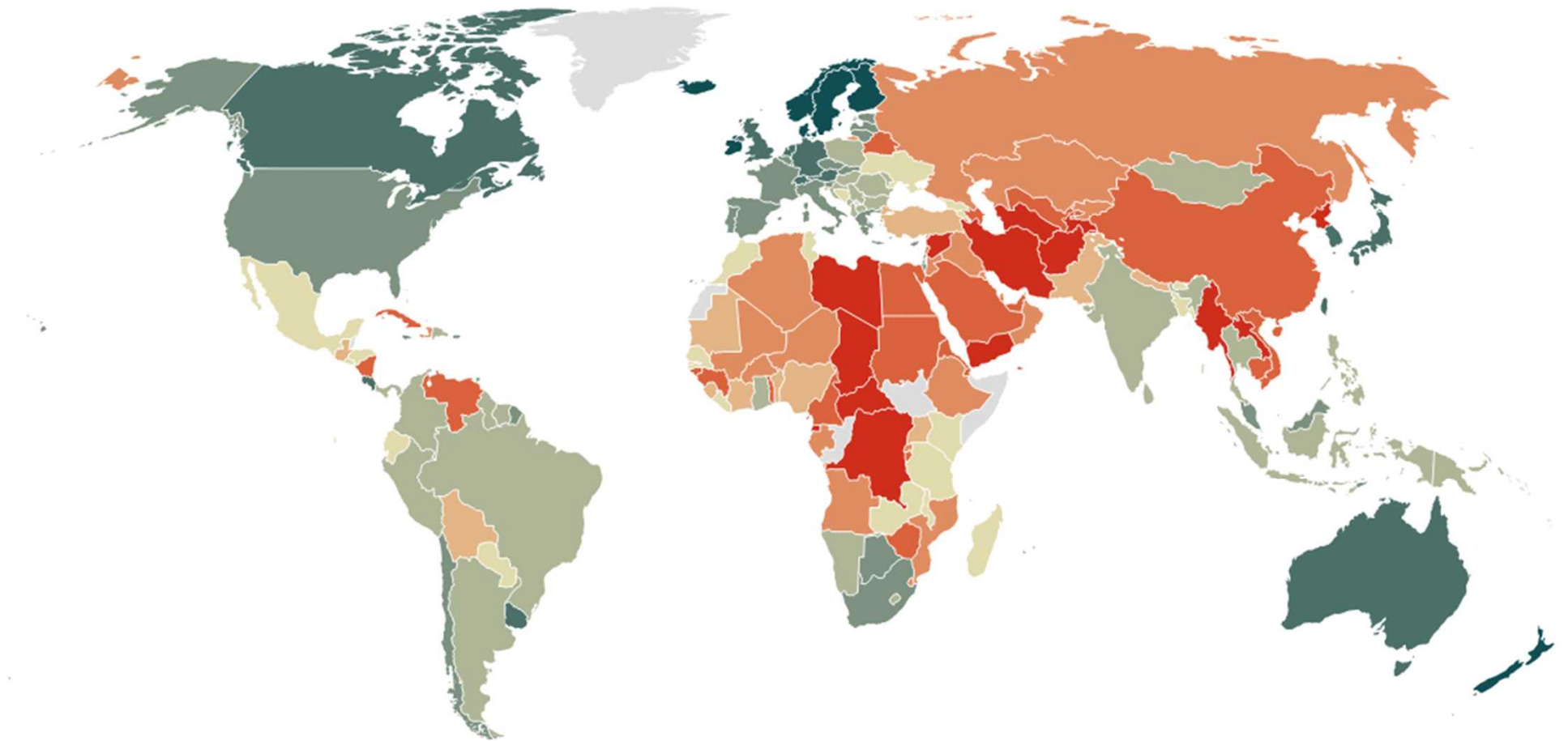
# 民主政治の後退

---

- (1) 独裁政権の安定      中国・中東湾岸諸国
- (2) 民主化革命の逆転      エジプト・ミャンマー
- (3) 選挙のある独裁      ロシア・トルコ・タイ
- (4) 中進国の強権化      ブラジル・インド
- (5) 先進国のポピュリズム      イギリス・アメリカ

# デモクラシーの現状 (Economist)

## Democracy Index 2021



# リスク対応失敗としての新型コロナウイルス

---

## (1) 危機管理の事後性

予想され、指摘されたリスク    リスク対応の遅れ

## (2) 権威主義体制におけるコロナ対策

中国における感染    情報公開の遅れ

強権的ロックダウン    感染拡大と反封鎖デモ

## (3) ポピュリズムとパンデミック

科学に対する政治の優位

米トランプ政権、ブラジル・ボルソナーロ政権

## (4) 国際機構の機能不全

WHOの限界・EUの限界



# 気候変動のジレンマ

---

## (1) グローバルなリスク

- 一 越境汚染 国境を越える対応が不可欠
- 一 影響の規模 一国のキャパシティを越える
- 一 リスク連携 水・食糧供給から政治紛争まで

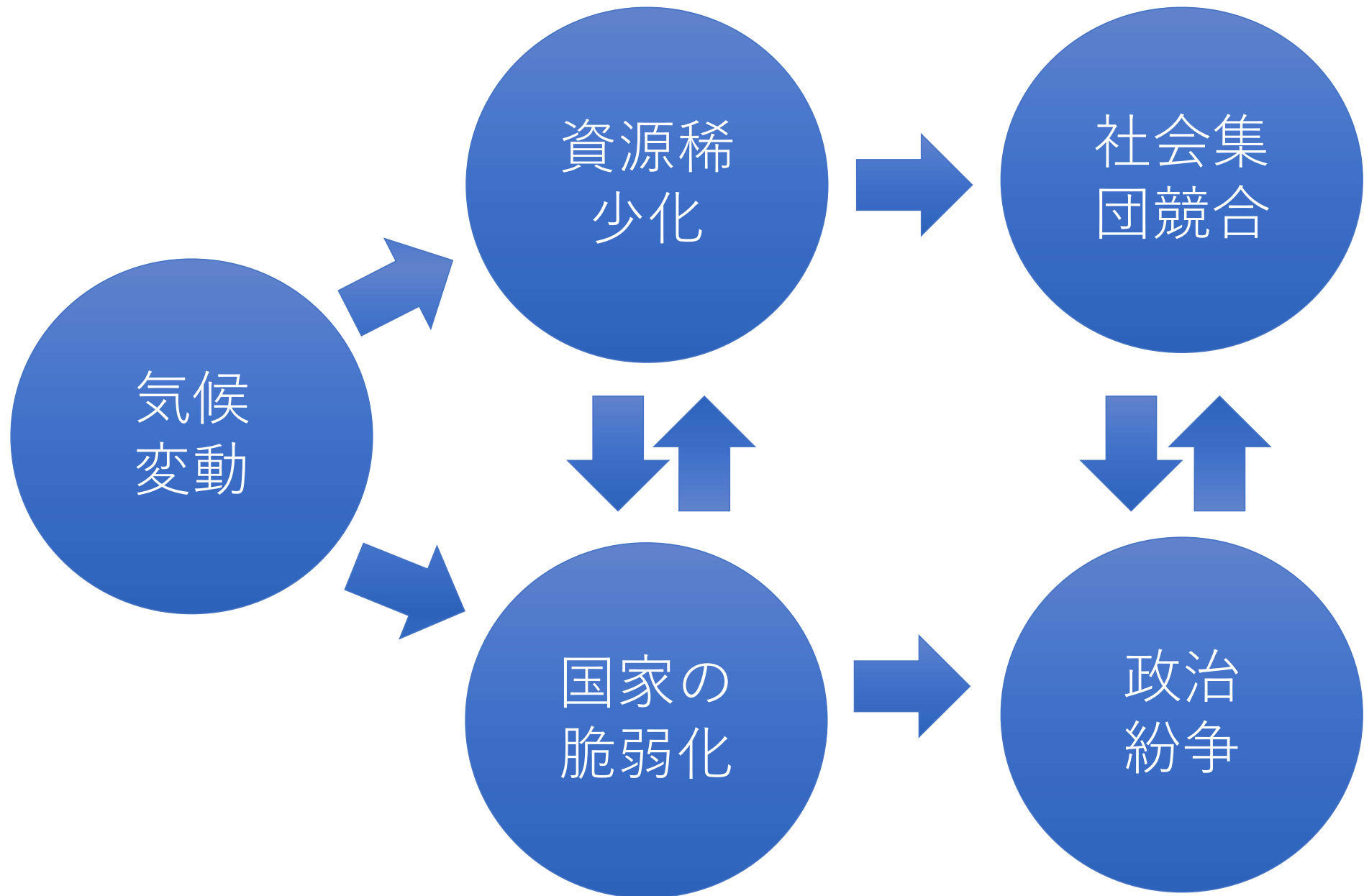
## (2) グローバルレジームの脆弱性

- 一 協力を拒む国家 拒否権アクターの影響力
- 一 争点先送り 協力しない合理性
- 一 南北ギャップ 誰がコストを負担するか

⇒ 漸進的な合意形成と実現目標設定への依存  
(国連気象変動枠組み条約と締約国会議)

# 気候変動と紛争

---



# 環境政治という視点



1. 気候変動が紛争を加速する  
洪水 南アジア  
干魃 アフガニスタン  
内戦 アフリカ・サヘル地域
2. ポピュリズムと反科学主義  
科学者と政治家の乖離  
アメリカ・ブラジル
3. 多国間主義の制度化  
気候変動リスクの国際体制  
科学者の勧告をどう活かすか

# 気候変動における多国間主義

---

- (1) 政府プロセスと専門家プロセスの並行
  - 科学者・専門家の報告書と各国政府の検討
  - 気候変動に関する政府間パネル（IPCC、1988）
  - 政府間交渉委員会（INC、1990）
  - IPCC報告書とクライメートゲート事件

- (2) 関与主体（ステークホルダー）の拡大
  - 地方政府・NGO・民間企業
  - 非締約国ステークホルダーの参加
  - 非国家主体によるクライメート・アクション

⇒ 科学者・非政府主体・多国間主義によるジレンマ打開

（城山英明、2018『科学技術と政治』）

# 中国 リスクの中心・グローバル化の中心

---

## (1) 軍事的脅威としての中国

東アジア 人民解放軍外洋進出 台湾危機

ロシア弱体化と中国のユーラシア進出

テクノロジーの安全保障化

## (2) 地球環境と中国

「三つの世界」論グローバルサウスの代弁

気候変動南南協力基金（2015）

石炭火力への依存 CO2排出

エネルギー確保の地政学・外洋軍事進出

## (3) 国際協力を担う中国

再生可能エネルギー転換の主導

パンデミックとWHO・内需主体の経済発展

# ゼロカーボンは経済成長を阻むのか

---

## (1) ゼロカーボンへの疑問と抵抗

再生可能エネルギーのコスト 原子力発電  
製造業に対する規制とインセンティブ  
フリーライダーと過剰コスト負担の危険

## (2) 公共政策による投資誘導としてのゼロカーボン

再生エネルギー 高コストの長期的低減  
ゼロカーボンと産業政策 市場創出効果  
国際市場 新興工業圏・グローバルサウス

## (3) ゼロカーボンへの障壁とインセンティブ

スタグフレーション危機のなかの公共投資  
変化そのものへの反発 径路依存の誘惑  
若年層の異議申し立て

# SDG s の課題

---

## 1. SDG s の政治性と非政治性

日本：SDG s のメインストリーム化

⇒ 非政治化 誰もが賛成

ヨーロッパ：緑の党とSDG s

⇒ 政治争点としてのSDG s

## 2. SDG s の実現可能性

17の目標のどれをどこまで実現できるのか

目標の間のトレードオフ 優先順位の設定

## 3. 客体としてのグローバルサウス

開発協力の再定義 ⇒ 投資の誘導は可能か

平和と正義 ⇒ 紛争解決と平和維持の可能性

# グローバルアジェンダとしてのSDGs

---

## 1. グローバルアジェンダの提起

国際主義と国境を越える義務

国連の訴えるグローバルアジェンダ

ミレニアム開発目標とSDGs

## 2. SDGsの受容 セクターを横断する連帯

日本政府 推進本部とアクションプラン

ビジネス 経団連 Society 5.0 for SDGs

マスメディア・大学



グローバルアジェンダの提起における大学の役割